

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	1	事業名	函館市Webページ管理関係経費		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	函館市Webページ管理関係経費		中事項	函館市Webページ管理関係経費		部課名	企画部広報広聴課		
事業開始年度	平成 26 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等()					電話番号	21-3631

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 市の情報発信(広報活動)の一手段として、ウェブページ上で市民生活に関わる情報や市が行おうとしている施策の内容などを広く分かりやすく市民に伝えることを目的とする。
	【必要性】 総務省「平成25年通信利用動向調査」によると、平成25年末における個人の世代別インターネット利用率は13歳～59歳では9割を超えており、インターネット社会の進展に伴い、市の情報発信の手段として欠かせないものとなっている。
内容	市のウェブページの管理・運用を行う事業である。市ウェブページは、ウェブページ管理ソフト(CMS)により、各課の職員が直接情報を入力し、公開している。トップページの変更やユーザ設定等、ウェブサイト全体の管理は広報広聴課の職員が行っており、専門的な知識を要する業務(サーバ管理・設定を含む保守業務やCMSのバージョンアップ、プログラム修正等)については業者に委託している。なお、トップページ下部に広告スペースを設け、年間725千円の歳入があり、特定財源として充当している。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		0	0	1,536	1,493	1,429	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他			1,895	725	725	
一般財源		0	0	-359	768	704	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。	職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.39 2,843	人工 0.39 2,843	人工 0.38 2,855	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	0	0	2,843	2,843	2,855	0
総事業費計(A+B)		0	0	4,379	4,336	4,284	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
トップページへの新着情報掲載	件	323	248	568	
※リニューアルはH26.4～					

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	ウェブページの閲覧数
------	------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	平成25年度のトップページ閲覧数は928,626回(市役所内部からの閲覧を含む)だったが、ウェブサイトリニューアルしたことにより平成26年度と同閲覧数は1,044,978回(市役所内部からの閲覧を除く)に増加している。また、リニューアルに伴い背景色の変更や読み上げなどの機能を追加し、アクセシビリティが向上したことによりJIS規格への対応を実現したほか、アクセス解析ソフトを導入したことによりニーズの高いページの把握や利用状況を踏まえた内容の改善につながっている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	コスト負担	コストの節減度	節減できている
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	受益者負担の適正度	評価対象外
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		外部委託の可能性	すでに実施
評価結果から明らかに なった課題事項など		インターネット普及率の高まりや、即時性・拡散性等の広報媒体としての優位性から、市の広報手段として欠かせないものとなっている。	実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	専門的な知識を要する業務に関してはすでに委託を実施している。
		CMSを導入したことでページ作成・管理業務の軽減が図られ、ページの新規作成・更新の頻度が増加し、より多くの情報をより早く提供できている。	保守業務委託の保守対応時間を平日の午前10時から午後5時30分までとすることで経費を抑えている。なお、掲載する情報量が増えた場合にはサーバー容量の増加に伴い経費が発生する。		
		リニューアルから1年が経過し、運用が安定してきたため、専門的なサポートを必要とする頻度は少なくなると想定される。外部からのサイバー攻撃による改ざん防止のためのソフトの更新など必須となるコストはあるものの、新たにトップページ以外のページへの広告掲載の検討など、経費の節減に努める。			

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) 保守管理業務の内容を精査し、引き続きコストの低減に努める。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	○道内各市の状況について(平成24年度・道内15市のうちCMS導済みの10市のランニングコストを比較) 最高額 9,185千円(札幌市) 最低額 650千円(北広島市※サーバ経費別) 平均額 3,519千円
----------------------------	--